

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 鏡視下腎部分切除術における術後腎機能と合併症に関する後ろ向き研究

[研究機関] 北海道大学病院 泌尿器科

[研究責任者] 安部 崇重（泌尿器科・助教）

[研究の目的]

当科では、小径腎腫瘍の診断、治療目的に鏡視下腎部分切除術を積極的に行っています。鏡視下腎部分切除術は、傷も小さく、いわゆる「体に優しい手術」といえますが、腎臓への血流を一時遮断する必要があること、切除面の縫合を要する比較的難易度の高い手術とされています。当科では腎機能低下の軽減を目指して、腎動脈を血管用クリップで遮断の後、約 15 分間氷冷水を用いて、腎臓を冷却して手術を行っています。今回の研究では、MAG3 シンチという方法で、患側腎機能の低下率と、鏡視下腎部分切除術における合併症を後ろ向きに評価します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

小径腎腫瘍の患者さんで、2003 年 8 月から 2010 年 12 月の間に鏡視下腎部分切除術を受けられた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、既往歴、合併症、臨床検査データ、CT 画像、シンチグラフィ画像、手術記録による手術関連情報、合併症

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 泌尿器科 担当医師 安部 崇重

電話：011-716-1161

FAX：011-706-7853